

2006 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 (通年) 文学部 教育福祉学科 4 回生	担当者 たけもと ふ ゆ の しん 竹本封由之進
授業テーマ 絵画制作を通し、自己実現をはかる		
授業の概要と目標 前年度のゼミナールⅠから継続した研究主旨を生かし、絵画表現を主として検証的に卒業研究を進める。 自主的・主体的な研究姿勢で、生涯学習につながるような自己教育力の基盤を確立しましょう。 なお、卒業制作は油彩画 F60 号作品 1 点とします。 また、副論文は「表現と自己実現」を研究課題の基底として考察し、原稿用紙 15 枚以上にまとめること。 ゼミでの学習交流を通して学友との絆を強め、生涯付き合えるような関係を期待します。		
評価方法 ・出席状況・研究姿勢・制作活動の様子・学習成果・自己評価・油彩画作品などによって総合的に評価する。		
テキスト 必要に応じてテキスト・資料を紹介する。	著者	出版社
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 回 ・年間ゼミ学習計画と学生生活の設計（実習、卒業、就職関係事項等） 2～13 回 ・月例写生会、写生旅行の計画 ・写生会における作品の評価会 構図、形と色、量感や質感、主題、モチーフ、技法等 ・鑑賞作品の紹介、報告会 ・論文の書き方の演習 ・造形表現、図画工作科の教材研究 ・卒業制作、副論文の構想相談、計画 ・卒業、実習、就職相談 ・その他、各種活動についての取り組み 14 回 ・キャンパス下塗り ・下絵制作 15 回 ・「絵画表現」と卒業研究の意義 ・卒業制作構想発表会 ・夏休みの課題と計画 16 回 ・夏休みの成果発表会 ・制作日程の確認 17～20 回 ・各自で卒業制作を進める（随時） ・副論文の構想を練る 21 回 ・副論文の作成日程の確認 ・副論文の書き方の確認 22～28 回 ・卒業制作の完成 ・各自で副論文の作成 29 回 ・副論文完成、発表会、相互評価 30 回 ・卒業制作「油彩画」F 60 号、副論文完成・提出(1/10) ◆ 2 月上旬 卒業制作油彩画展（志学館）、2 月中旬 卒業制作展（御堂筋ギャラリー）		

→ 写生旅行の様子



→ 卒業制作展の様子

